

三菱みらい育成財団の「2023 年度助成事業プログラム」として採用されました



一般財団法人

三菱みらい育成財団

未来を担う子どもや若者の育成を目指す教育活動を支援する「2023 年度助成事業プログラム」として本校の探究活動のプログラムが採択されました。全国67校の中に選抜され、茨城県では最初の採択校となりました。助成期間は2023年7月～2024年3月の1年間で、取り組みの定着を目的に原則3年まで継続助成される予定です。

財団から学校へ7月27日（木）に実施状況等のヒアリング調査のため財団事務局の方がご来校されました。

《今後の予定》

・夏季巡検の開催

先進的な地域活性に取り組んでいる茨城県境町を視察。自動運転バス試乗や隈研吾建築群、道の駅を見学した後、活性化の中心となっているキーパーソンとの意見交流を実施する。

その後、常陸太子町に移動し、地域の特性を活かした取り組みを見学。

プラトーさとみに宿泊して、天体観測を実施。

翌日は、日鉾記念館などを見学予定。境町、常陸太田市、茨城大学の支援の下、開催します。

・SDGs キャンプの開催

地域活性化の取り組み事例を学習した上で、高校生が土浦を舞台に何が出来るかを考える。その上で、霞ヶ浦総合運動公園において地元食材で太陽光エネルギーによるSDGs キャンプを生徒が企画・運営する予定。（後期実施予定）

- ・地域の住民や小学生を招いて天体観測会の開催
- ・スターリングエンジン作成、全国大会への参加
- ・恒星や惑星状星雲のスペクトラムの撮影
- ・木辺鏡を使った20cm反射望遠鏡の作成 他
- ・探究成果発表会（2月末）

今後、探究活動のさらなる充実を目指して活動を実践していきます。

